

# 中西吉日出



## 奈良市議会 活動報告



<http://www.nakanishiyoshihide.com>

### 奈良市議会議員

奈良市の令和3年度決算は、一般会計の歳入(収入)から、歳出(支出)と次年度に繰り越した事業財源を除くと54億9900万円の黒字になったと市は説明しています。

奈良市の令和3年度の決算は、一般会計の歳入(収入)から、歳出(支出)と次年度に繰り越した事業財源を除くと54億9900万円の黒字になったと市は説明しています。

奈良市議会の中西吉日出は、今年度の市議会活動で市の財政状況について質問を続けてきました。令和3年度は数字上、財政が改善し、市もそれを積極的に広報していますが、これは国の新型コロナ対策の特別交付金が各地方に分配されたことによる歳入の増加が主な原因で「一時的な改善」に過ぎません。人口減少の中、無理や無駄のない市政の運営と、市民サービスを下下させない行革を強く求めました。今年度の私の活動をご報告します。

## 財政改善は国の特別交付金による「一時的な改善」 市民サービス低下させない行革を

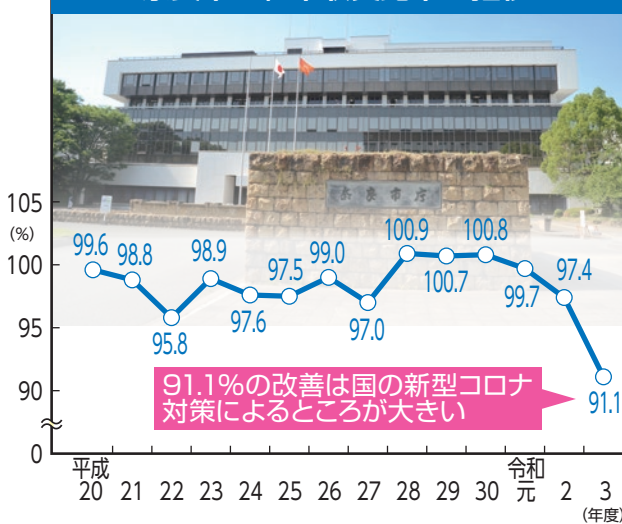
### パフォーマンスではなく事実説明を

### 市が広報で黒字決算アピールも

### 改善は国の新型コロナ対策

だより」では、財政状況が一時的に改善したこれらの要因には触れず「55億円の黒字決算」「経常収支比率は大きく改善し、91.1%」などの記事になっています。私は市に対して「広報

奈良市の経常収支比率の推移



行財政改革の一環として市は、老朽化した公共施設の廃止や縮小を予定しています。その中で人権文化センターについて仲川元庸市長は「一定の役割を果たし終えた」との認識を示しています。新年度予算を審議する市議会3月定例会で私は、差別の解消はまだ「終えた」とは言い難く、人権は行財政改革や効率化に組み込むべきではないとし、責任ある運営と考え方の改善を求めました。

### 人権問題に取り組んでいくのは行政の責務 責任ある運営と考え方提言

仲川市長は人権文化センターの公共施設の維持や管理、更新などの適正化、効率化を目指し、行革に取り組んでいます。人権文化センターについては「役割を果たし終えた」と議会で発言しています。

また北、東、中、南と4施設ある人権文化センターのうち、市は北人権文化センターの運営を地元管理に移行しています。これにより、国の補助金がなくなっています。私はセンターへの国の補助金を活用しながら、まだ解消には至っていない差別や人権問題について、行政の責務として取り組んでいくべきと指摘。人権は行革と切り離して考えるべきと提言しました。



は特に客観的事実や数値をお伝えすべきで、政治的意図や市長のパフォーマンスの場ではない」と指摘。

また、奈良市の財政改革は依然として厳しい状況である、財政課の答弁を取り上げ、無理や無駄のない行政運営に努めるその一方、市が進めよう

としてい  
る連絡所や  
人権センタ  
ー、住宅、福  
祉施設をはじ  
めとした運営費  
の削減に安易に取り組むこと  
は、市民サービスの著しい低下  
を招くとし、高度なバランスを  
強く求めました。

